



ウラシマソウ号

私が子どもだった頃 大道町内会 鈴木 巽

お墓の掃除をするために、小高い丘の上にある菩提寺の大道の宝樹院の裏山に登ることがあります。山の傾斜地にある墓地の最上段に立って前方を眺めると、夏島、野島山、六浦方面やお伊勢山から遠く釜利谷方面に続く山々が一望出来ます。更に目の前に飛び込んでくる光景は、平地も山の上も無数の家また家、高層の建物の連続で圧倒されます。じつとその場にたたずんで、自分の幼い頃の、のどかな大道の様子や出来事などを思い返してみることがあります。私は昭和の始め、この宝樹院の石段近くの家で生まれました。現在はお寺の裏側に車が登れる道がありますが、その頃は、その坂道はありませんでした。当時は土葬でしたので、お墓に埋葬するために亡くなった人を担いで長い石段を登るのは大変な労力でした。

その頃、お寺は子どもたちの遊び場でした。お寺の縁側の下の砂地にアリ地獄の巣がありました。アリ地獄は、「うすばかげろう」の幼虫が中に隠れているスリバチ型の穴で、



ウラシマソウ

学名 : *Arisaema urashima Hara*

高さ : 40 ~ 50 cm

サトイモ科の多年草で本州、四国と北海道、九州の一部で見られる。花の先(花に見えるのは仏炎苞...水芭蕉などにも見られる)細長いものが伸びていて、それが浦島太郎の釣り糸に見えるのが名の由来。小型の株は雄で、大きくなると雌に性転換する。近所の人「山こんにやく」と呼んでいたが、有毒で食べられない(皮膚炎・腹痛・嘔吐などの症状をもよおす) 解説 : 山田 陽治

落ち込んだアリなどを捕まえて体液を吸うのです。アリの代わりに、草でつついたりして、いたずらして遊びました。そんな、いたずら坊主たちに、当時、子どものいなかった、お寺の奥さんがよく菓子をくれました。

また、宝樹院の境内には、今は廃寺になっていますが、私たちが常福寺と呼んでいたお寺の小さなお堂がありました。私が小学校低学年の頃、夏休みになると大道の小学生は全員このお堂に夏季学習帳を持って集まり、仏様の前で上級生の指導で勉強しました。夏の楽しい寺子屋でした。私たちが何も知らずに勉強させて貰ったこのお堂の仏様は、平成3年に解体して修理をしたときに、像内の納入品から平安末期の久安3年（1143年）に造立された平安佛であるという証拠が見つかり、この阿弥陀三尊像は神奈川県的重要文化財に指定されました。

私の子どもの頃に大道に建っていた家は、関東大震災で建て直した家以外は、ほとんどが茅葺屋根でした。当時の大道は村として茅場と呼ばれる山を所有していて、毎年、1月中頃になると村人総出で茅刈りに行きました。子どもたちは、昼近くなると親たちが食べる弁当を細い山道を一列になって届けに行きながら、帰りは急な斜面になっている茅場で遊びました。刈り取った茅は夕方大人たちが体が隠れる様な大きな束を背負って山から降りてきて、村の1ヶ所に積み上げておき、屋根替えの必要な家から村人総出で葺き替えを手伝いました。葺き替えは屋根屋と呼ばれた人たちを中心に仕上げていく、当時30数軒の家しかなかった村の一大行事でした。



茅葺屋根

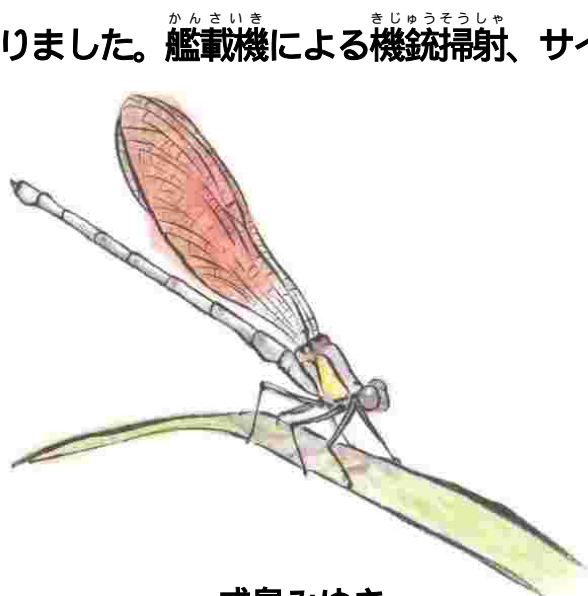
大道の中心を通っていた旧鎌倉街道は、当時、道幅4m弱の砂利道で現在よりも低い位置にありました。六浦原宿線と呼ばれる現在の道路は、当時大船に海軍の施設を作ったので昭和17年から終戦時にかけて、横須賀と大船を結ぶ軍用の道路として突貫作業で改修が行われました。戦前の大道は鼻欠地蔵あたりまで見渡す限りの水田地帯でした。現在の大道橋の上流50m位の所に田圃に引く水をせき止めた大堰があり、堰の上側の水溜まりで子どもたちは泳ぐことが出来ました。更に上流にもう一つ堰がありました。大堰の近くの奥まった谷戸には湯水期の用水のための大池があり、秋になると、この大池の栓を外して水を抜きました。中にはウナギや小魚がいっぱいいて、子どもたちは夢中で捕ったものです。

下流にある山王橋からその上流の現在の二の橋あたりまでの侍従川の南側の川沿い
一帯に桃の果樹園があり、春には一面ピンクの花に覆われました。夏が近くなると、稲の
苗作りから田植の時期です。侍従川の堰から導いた水路からの水を、持ち主の違う田圃へ
出来るだけ均等に流れ込む様に配分するのが大人たちの仕事でした。小学校から帰ってき
た子どもたちは、自分の家の田圃への水がちゃんと流れ込んでいるか見守りに行きました。
「我田引水」とは、この様なところからきた言葉なのでしょう。それほど侍従川の水は田圃
にとって大切なものであり、大道に住む人たちの命の源でした。

昔の侍従川は大道の辺りでは、もっと浅く、川幅も狭く曲がりくねっている所もあり、
童謡に出てくる様な、のどかな清流でした。山王橋から東側は、もう少し山側に入り込んで
いた記憶があります。当時の侍従川は、大雨の時は氾濫することもありました。私も侍
従川を背にした所に住んでいますので、床上浸水の体験があります。しかし、その後の
大改修、下水道の完備、この川を愛してくれる人たちの努力で、氾濫することもなくなり、
以前にも増して多くの生き物のいる清流に戻ってくれたことは本当に嬉しいことです。

私の子どもの頃の忘れ難い思い出として、昭和10年代のことがあります。昭和12年
に中国と日中戦争が始まり、それが拡大して16年には太平洋戦争に突入しました。その
間、近所の大人が兵隊として、次々に出征して行きました。町内の子どもたちも、朝早く、
日の丸の小旗を振りながら金沢八景駅まで送って行きました。出征する人は電車の最後尾
の窓を開けて、見送ってくれた人たちに必死に両手を振って出発して行きました。私の兄
3人も次々に出征しました。太平洋戦争も敗色の濃くなった昭和20年7月、三男の兄が
フィリピンのルソン島で戦死したとの公報が届きました。兄の遺留品は何一つ戻ってきま
せませんでした。23歳という若さでした。

米軍の反転攻勢で遂に日本国内への空爆が始まりました。艦載機による機銃掃射、サイ
パン島を発進した米軍のB29重爆撃機の爆弾
や焼夷弾攻撃による攻撃です。昭和20年3月
10日には東京大空襲、6月29日の横浜
大空襲、そして6月10日には、この金沢区富岡
地区周辺がB29による空襲を受けました。
当時富岡周辺には横浜海軍航空隊や、日本
飛行機、石川島航空工業、大日本兵器などの民間
の軍需工場が取り囲む様にありました。横浜
海軍航空隊には水上艇が配備され、日本飛行機



成島みゆき

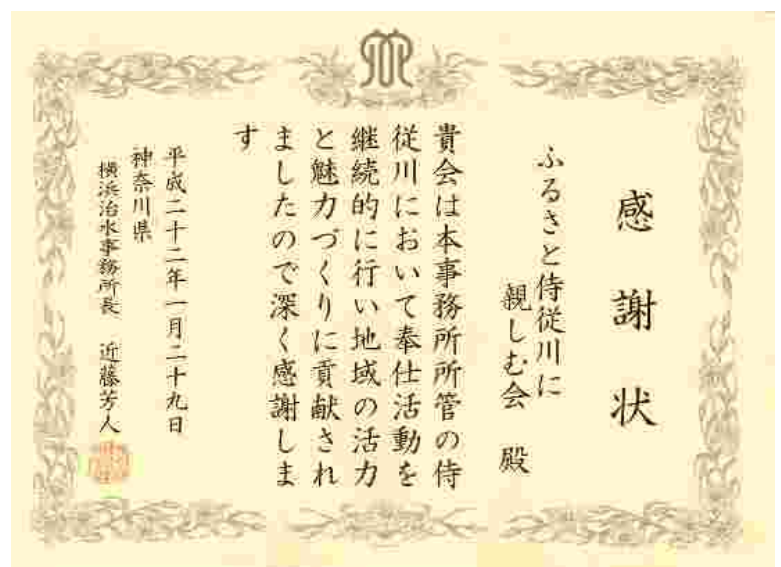
では練習機を、石川島航空工業では零戦のエンジンを作っていました。私は石川島航空工業で働いていました。

その日は、9時前後だったでしょうか、空襲警報がなり、大多数の従業員は会社の前の山にある大きな防空壕に入りましたが、私は防火隊のメンバーだったので工場内にいました。B29の編隊が見えたと思ったら、いきなりヒューンという音がしましたので、目の前の防火用水のコンクリートの陰に倒れ込みました。大きな爆発音の後、静まるのを待って、様子をうかがうと、隣の日本飛行機、横浜海軍航空隊の方で、黒煙が上がっていました。その日の夕方、毎日利用していた杉田の駅まで行くと、電車は不通になっていましたので、仕方なく線路の上を金沢八景に向けて歩きました。

富岡駅のすぐ手前の短いトンネルに近づき、トンネルの中に止まっている2輛連結の電車を見ますと、窓ガラスが1枚もありませんでした。この日の空襲警報で、この電車は乗客を乗せたまま、このトンネル内に避難していました。そのトンネルの両方の入口に爆弾が落ちて、その爆風で被害にあったのでした。トンネルの中にいた60名の乗客の中の40名くらいの方が即死してしまったそうです。

富岡地区では、この爆弾による空襲で59戸の家屋が全壊して、全焼した家屋は12戸もありました。また、その時の直撃弾でも多くの死傷者が出ました。トンネル内で被害にあった人も含めて、この空襲で亡くなった、たくさんの方々には富岡の慶珊寺の広い境内一面に並べられたそうです。

宝樹院の境内にも、太平洋戦争で戦死した大道の人たちの立派な慰霊の碑があります。墓誌によりますと24名の戒名が刻まれています。亡くなった年齢を見ますと多くの方が20歳代の若い人たちです。早いもので戦争が終わってから、65年という歳月が経ち、平和な世の中になりました。しかし、この平和は、この戦争で亡くなった人たちの貴重な犠牲の上で成り立っているということを忘れてはいけません。これから、どんなことがあっても、この悲惨な戦争だけは、絶対に避けなければならぬと強く思っています。



侍従会がボランティア表彰を受賞！！

詳しくは次ページで！

12月クリーンアップ

【活動報告その1】

12月27日(日) 9:00~11:00

於：大道東橋～耕地橋上流

記) 細川一雄

参加者：相川澄夫、長野政治、八木場紀元、角田繁、村田章夫、石井勝、石塚正夫、高橋のりみ、廣瀬隆夫、河本充雄、寺尾勝廣、山田陽治、飯村優介、上村優果、細川一雄(計15名)

今回は、相川光正元議員の後任の高橋のりみ女史が初参加してくれました。なかなかパワフルな女性で今後の大きな戦力になって頂けるように期待しています。

当日は、多数のメンバーが参加してくれた事と、今年最後のクリーンアップでしたので、2班に分かれ、下流(大道東橋)と上流(耕地橋上流)から川に入り、流域全面にわたりゴミ拾いと多少草が残っていた青木製作所の草刈りを実施しました。また、先月草刈りをして束ねて置いた分(長島橋～第二山王橋間)の草を回収しました。相変わらず、ゴミは多く10袋分のゴミを回収しました。また、セブンイレブン裏で原付自動車のナンバープレート(大道交番に届出しました)を、上流の支流から自動車のバッテリーも回収しました。



「ふるさと侍従川に親しむ会」がボランティア表彰を受賞！！

侍従会の活動が、平成21年度の県土整備部所管施設等におけるボランティア表彰を受賞しました。県土整備部が所管する道路や河川、都市公園などの施設等において、清掃活動や樹木の管理、草花の植栽など、地道なボランティア活動の功績が模範となる団体に対して、横浜治水事務所長が表彰を行うものです。

1月29日(金)午後2時から横浜治水事務所の会議室で表彰式が行われました。侍従会を代表してクリーンアップ責任者の細川さんが賞状を受け取りました。

受賞理由は「侍従川の草刈りや清掃活動にとどまらず、子供たちが川に触れ合える様々な活動を行うなど、侍従川の環境保全・向上に大きく貢献」ということです。横浜市では、侍従会以外に早渕川親水広場愛護会、保土ヶ谷公園フラワーメイトの2団体が表彰されました。

ネイチャークラフト教室

【活動報告その2】

～世界でたった一つの my basket を作ろう！～

1月9日(土) 9:00～16:00

記) 河本充雄

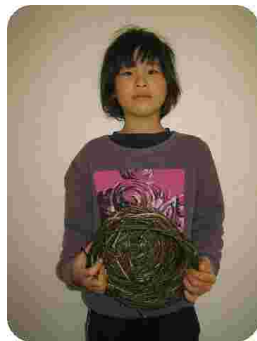


総勢35名。午前中、大道中学校の裏山でつるを採り、午後から大道小コミュニティハウスでつるかごを作りました。

今年は、初参加の方が多かったにも関わらず、みんな上手にかごを編んでいました。



侍従会ネイチャークラフトギャラリー



葦船学校 ~葦船づくり~

主催：大道小学校

【活動報告その3】

記)山田陽治 & 河本充雄

1 / 16 (土) 事前葦刈り



おとう、しっかり押しよ

1 / 19 (火) 大道小5年生による葦刈り



いっぱい刈ったぞ~

1月23日(土) 葦選別



黙々と仕事をする葦船職人姉妹



よこはま・かわを考える会の方々が手伝いに来てくれました

1 / 30 (土) 葦船建造~パーツづくり~



各地から応援に来てくださった葦船職人の皆さん



葦を広げて



束ねてパーツを作ります



謎の覆面レスラー登場!?



チョリソ(葦船の部品)を作っています



船の形を整えています



横笛、パンフルート、箏篋(ひちりき)教室も開催されました

1 / 3 1(日) 葦船建造 ~ 完成 ~



がんばるゾー！！ オー！！



エコカップパとレッドタイガーも応援に来てくれました



おりゃ~！！

バットでたたくと同時にロープで締めます



ヨイショ、ヨイショ 撮影 柴田 華



小さい葦船も
最終調整です



山田理子



葦船職人の黒さん 撮影 山田理子&郁絵



完成式 みんなうれしそう



命名式「輝くとんぼ丸」と「あしべえ」に決定！「あしべえ」の乗船会も開かれました



今年もすばらしい葦船が完成しました みなさんお疲れさまでした

1月クリーンアップ

【活動報告その4】

1月24日(日) 9:00~11:00

於：大道東橋~三信住宅入り口、長島橋~明戸橋 記)細川一雄

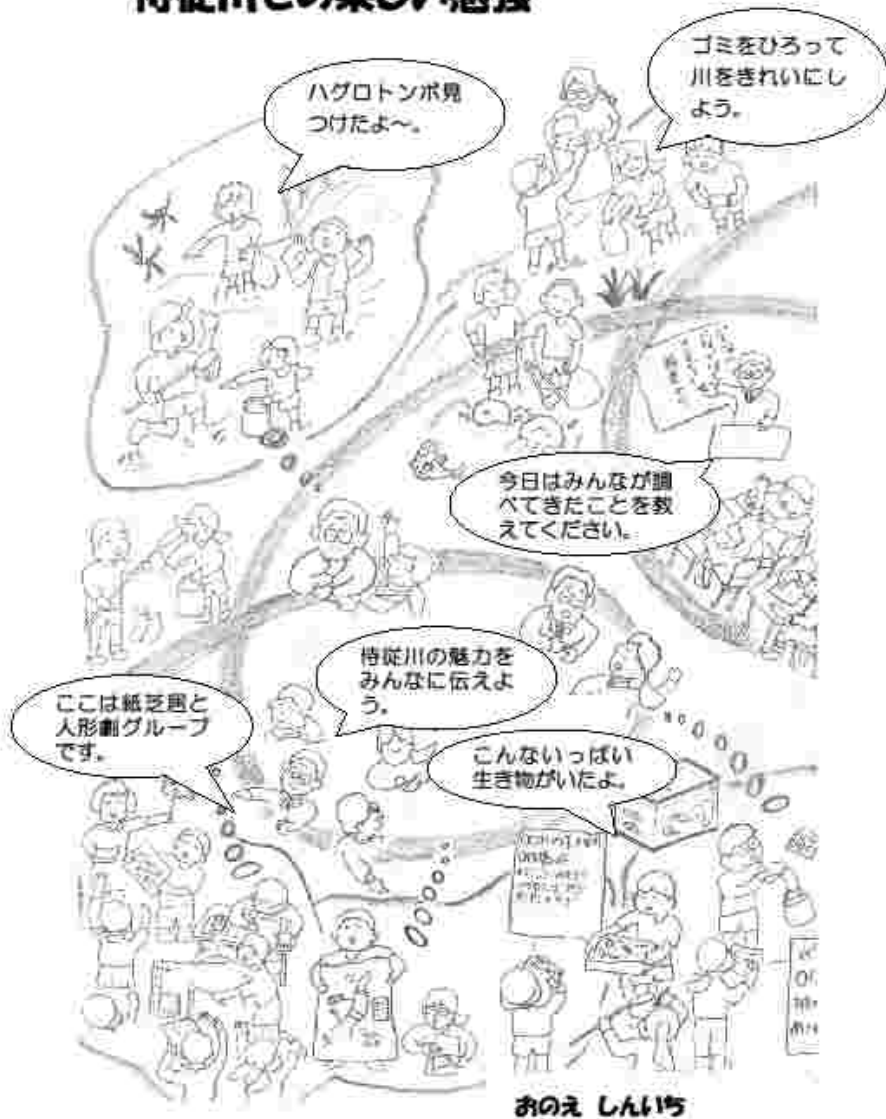
参加者：相川澄夫、長野政治、角田繁、西澤博厚、八木場紀元、外川忠志、高橋のりみ、廣瀬隆夫、河本充雄、山田陽治、島村まい、金野光流、鈴木政俊、金子英司、中島勇歩、細川一雄(計16名)

今回は子供たちが数多く参加してくれました。子供たちには大道東橋から上流に向けてゴミ拾いを任せ、途中長島橋付近に残っていた枯れた水草を同行の大人たちが刈り取りました。また、他のメンバーは上流に向かい地蔵橋から川に降りて、三信住宅入り口まで遡りそこから下流に向けゴミ拾いを行いました。途中加倉橋付近に残っていた枯れた水草の刈り取り作業を行いました。

今回は、一箇所に同じ種類のタバコの吸い殻が多く捨てられていました。多分、車の灰皿のゴミを川にそのまま捨てたか、携帯灰皿の中身を捨てたものと思われます。また、乾電池が多数入ったビニール袋を回収しました。これも通りがかりに捨てたのではなく意識的に捨てたものと思われます。



侍従川での楽しい勉強



こどもエコフォーラム

【活動報告その5】

2月27日(土) 9:00~16:00

於:横浜市立サイエンスフロンティア高校 記)成島みゆき

参加者...11人(大人:5人、子ども6人)

横浜市立サイエンスフロンティア高校で、子どもエコフォーラム(横浜市教育委員会・横浜市環境創造局主催)が行われました。午前の部は横浜市の小中学校の活動発表、午後の部は市民団体によるワークショップで、侍従会は午後のワークショップに出展しました。

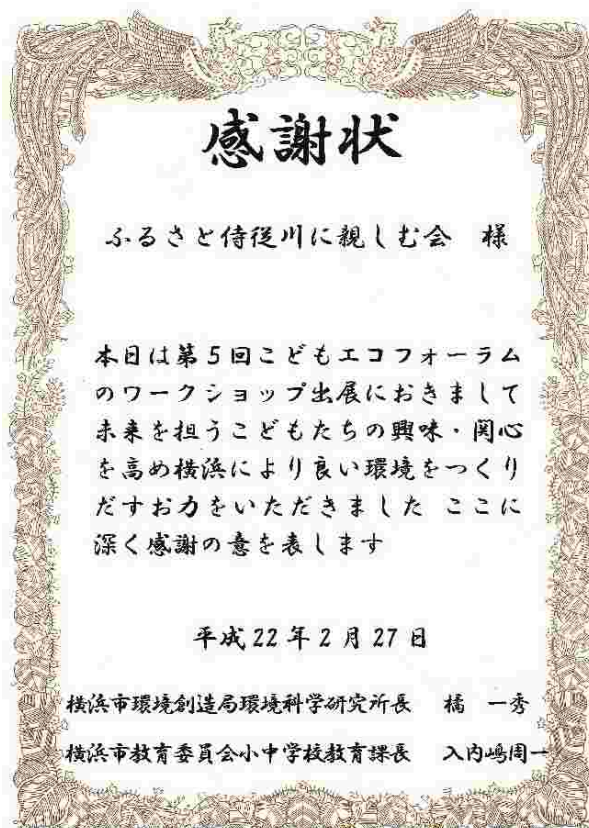
侍従会のブースでは、侍従川の生き物の展示、ミニ葦船とパネル(23ページに掲載)による葦の利用方法と川の浄化についての展示、ふるさと大道村を作るプロジェクトのジオラマ(大道小の子どもたちが制作したもの)展示、タッチスネークを行いました。幼稚園児から大人まで、たくさんの方に見ていただきました。



侍従会の展示風景



感謝状を受け取る竹内さん



大道小の発表



大道小の展示風景

琉球生き物紀行 ～ 美ら島の生き物たち～



撮影地：本部町

～ ナガサキアゲハ ～

- ・ 学名：papilio memnon ・体長：65～70センチ
- ・ 分布：沖縄諸島、奄美諸島

宮古諸島を除く琉球列島、九州、本州(栃木まで)、東南アジア沖縄県で最も美しいアゲハチョウの仲間、3月～11月までと長い期間観察できます。去年初めてこの蝶を民家の生垣で見たときは日本にもこんな綺麗な蝶がいるのかととても感動しました。

ナガサキアゲハは日本で2番目に大きな蝶でもあり、飛んでいる姿は日本最大種オオゴマダラに負けない迫力があります。

羽が白くなるのは雌だけで、南下するほど白さが増し、八重山諸島では稀に羽全体が真っ白になったものもいるそうです。

羽が美しいのは雌だけの特権のようで、雄の方はというと全体が青みがかかった黒い羽をしていてその地味さから別種ではないかと思ってしまうほど、違いがあります。

本州にも生息していますが、数は少なく羽の柄も雌雄ともに黒いものがほとんどで、主に太平洋側に分布しているようです。

監修)熊井 健

トピックス

『侍従川かわらばん』1号が流域小学校に配布されました(作成 山田陽治)

1 / 1 1(祝) 横浜の水辺と緑を考える子ども会議 実行委員会

東京ガス環境エネルギー館にて 参加者:成島、島村、金野、金子、米塚、山田
金野君が副委員長に就任しました。

2 / 1 4(日) 葦笛フォローアップ教室開催

(大道コミュニティハウスにて) NPO アカル
プロジェクトの西川氏が講師として大阪から来浜。

2 / 2 8(日) 侍従川定例クリーンアップが雨天中止
(翌週も雨天中止)

2 / 2 8(日) 学生部侍従川定例調査 雨天中止

3 / 1 2(金) 神奈川県横浜治水事務所の担当者との情報&意見交換会
侍従会からの出席者 相川会長、中山、細川、寺尾、山田



新連載コラム第2回

朝夷奈の森通信 ~風の忍者より~

飯村優介

野にフキノトウ、林に春蘭、早春の妖精の季節が過ぎ、木々が次々に芽吹き、山桜と共に山菜シーズンも本格化します。冬キノコもまだ健在、そこに春キノコが次々に登場、源流の森の楽しい春です。

アミガサタケ・トガリアミガサタケ・・・共にアミガサタケ科

アミガサタケは高さ5~12cm、

トガリアミガサタケは8~15cm、

共に美味しい食用キノコで西洋では有名。

林内、野原、土手、里の道ばた等に出る。

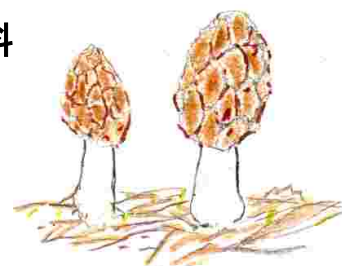
春になるとふいに出くわす感じのキノコ。

煮込むと弾力が出てしこしこした歯触りになり

まるやかなうま味が出る。

シチューや洋風煮込み、スープなど格別な味わい。

生食は中毒する。



アミガサタケ (食)
生食X



トガリアミガサタケ
(食)
生食X

ジャグマアミガサタケ・・・ノボリリュウタケ科

高さ5～8cm、アミガサタケの仲間と違い凸凹がぐにゃぐにゃして脳みそ状。柄も縦じわがあり不規則。春に針葉樹林内、桧の植林地で見たことがある。猛毒で嘔吐、下痢、痙攣、腹痛、重症では肝障害など加わり、死亡例もある。



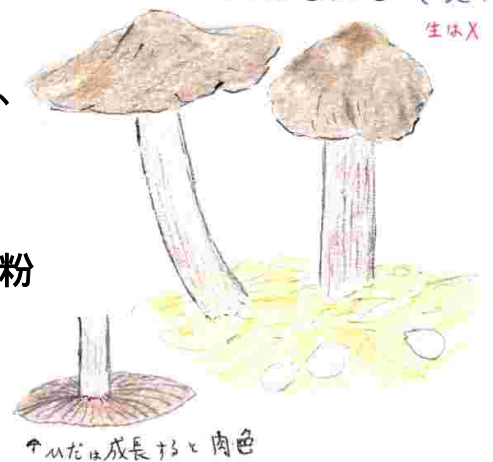
アラゲキクラゲ・・・キクラゲ科

円盤状～盃～耳状、ゼラチン質、径6cm、高さ2cm以上になる。背面は密な毛をまと。紫褐色～褐色。広葉樹の枯れ木、枯れ枝上。温帯～熱帯、広く分布。周辺地域ではキクラゲよりアラゲキクラゲが多く発生。食用で乾燥保存もできる。ゆでたり、炒めたりいろいろに利用でき、こりこりと歯ごたえがいい。



ハルシメジ(シメジモドキ)・・・イッポンシメジ科

傘は径5～8cm、ねずみ色でせんい紋あり。ひだはやや疎、白のち肉色。柄は4～8cm、白～灰色、せんい状。肉は粉臭がある。梅、桜、木イチゴ、ノイバラ等、バラ科の樹下に発生。4～5月ごろ美味しいキノコで人気、競争になる。味、歯切れよくうまいが粉臭さが気になるときは、肉や、ごま油が良く合う。生食は中毒する。



ヒラタケ・・・ヒラタケ科

傘は5～15cm、まんじゅう形から半円形に開く。表面は初めほぼ黒～灰青色で濃く、のちに薄くなる。色の個体差は多いほう。ひだは白～白灰色、柄は1～3cm、短くもとに白毛を密生する時もある。晩秋～春に広葉樹の枯れ木、切り株などに多数重なり合って生える。梅雨～秋雨期には近似種の小ぶりのウスヒラタケが出る。野生のヒラタケは歯切れと上品なうま味があり、どんな料理にも合う。ウスヒラタケも食味よく利用できる。



ヨコハマ市民まち普請 2 次コンテスト通過の概要

岡 望

大道小学校では総合（横浜の時間）の活動のなかで、トンボ池の枯渇をなんとかしたいと考えました。そして、地域に点在する上総掘りの井戸を田んぼの横に掘れば水が引けると考え、地域の協力を得て「ふるさと大道の風景をつくる会」を結成し、「ヨコハマ市民まち普請事業」に応募しました。

平成 22 年 2 月 7 日に、ヨコハマ・クリエイティブシティ・センターで「ヨコハマ市民まち普請事業 平成 21 年度 2 次コンテスト」が開催され、約 150 人が参加しました。2 次コンテスト対象提案 8 つの中から、平成 22 年度の整備助成対象提案 5 件が決定され、そのうち、「ふるさと大道の風景をつくる会」の提案が審査員満票で平成 22 年度の整備助成対象提案に決定しました！

さあいよいよふると大道村プロジェクトが始まります。

<大道村プロジェクトコンセプト>

ふるさと大道村プロジェクトに参加しませんか。

大道の原風景を学校に中に創り出そうと地域のみんなで立ち上がったあの日……。日本一のトンボ池という点（てん）は、侍従川という線（せん）に伸びていきました。18 年の歳月を経て今、積み重ねてきた活動は、「まち」へ「人」へと面（めん）としてひろがりつつあります。

さあ、みんなで一緒に憩いの空間（くわかん）を創り出しましょう。

私たちの「ふるさと大道村プロジェクト」の発進です。

よい水、よい人、よいまちづくり！！

ふるさと大道村では、村づくりに参加の村民（スタッフ）を募集しております。

お手伝い頂く仕事は

- <井戸掘り> ・井戸掘り技術者（足場作り、井戸掘り）
・井戸掘り実行者（足場作り、井戸掘り）
・調査係（土質調査） ・記録係（ビデオ・写真撮影）
- <イベント事> ・井戸掘り体験希望者 ・運営班：受付
・安全指導班：見守り ・子供対応班：見守り
・食料：まかないチーム
- <トンボ池周辺> ・工作指導班（水車・あずま屋・ベンチ他）
- <修景物工事>

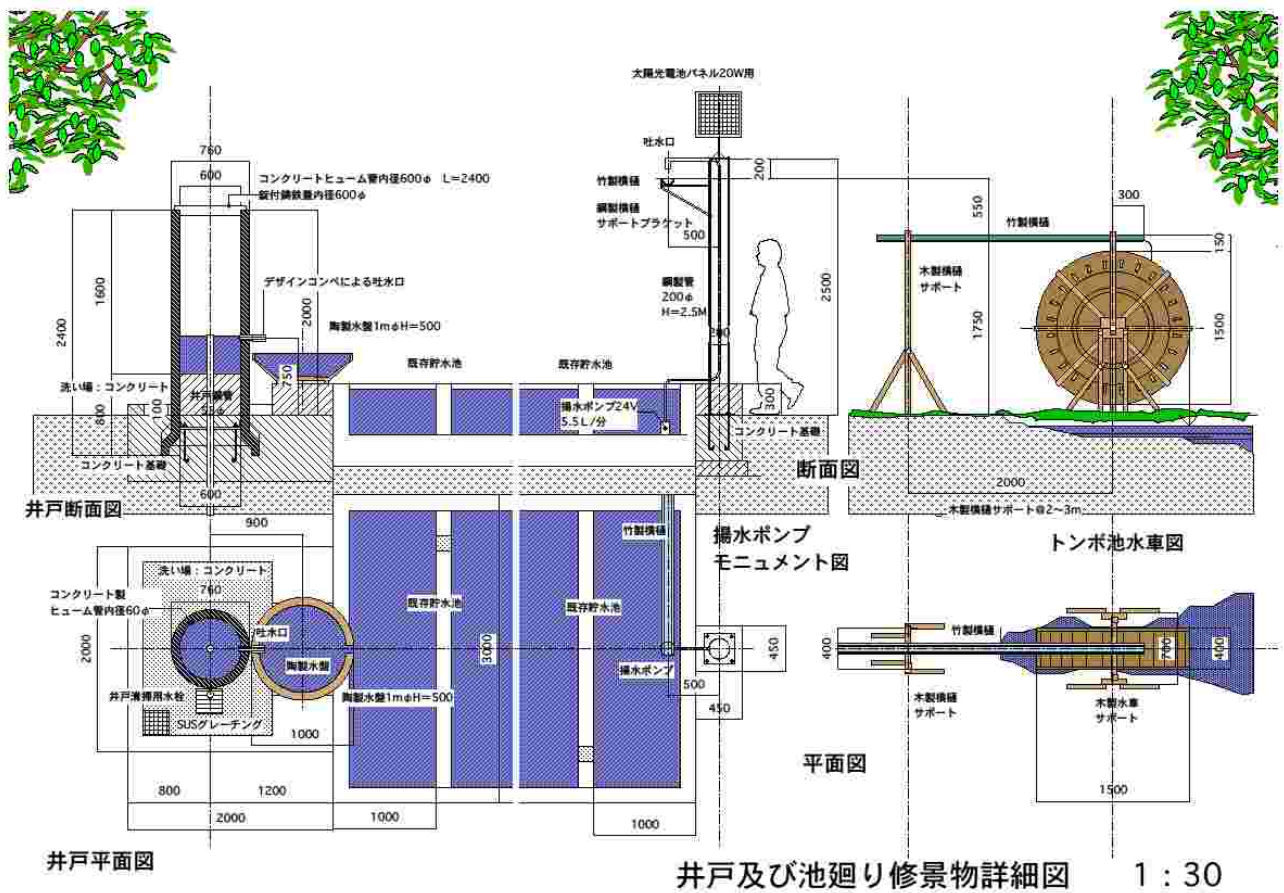


ふるさと大道の風景をつくる会 村役場(事務局)
 〒236-0035
 横浜市金沢区大道1-47-12(相川方)
<http://daidomura.web.fc2.com/>

こんな活動していく予定です(案)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 4月「がんばろうの会」発足式 | 9月「井戸の吐水口コンテスト」 |
| 4月「むらマークを考えてつくろう」 | 10月「池周りの環境整備を進めよう」 |
| 5月「トンボ池・田んぼの環境整備」 | 11月「ソーラーポンプ」 |
| 6月「井戸掘り開始(試掘)」 | 12月「あずまや」「橋」「ベンチ」 |
| 6月「みんなで井戸掘りえんやこりゃ」 | 1月「水路」「芝生」 |
| 7月「みんなで井戸掘りえんやこりゃ」 | 2月「だいでう村完成のお祝い会」 |
| 8月「みんなで井戸掘りえんやこりゃ」 | 3月 |
- 「通水のお祝い(流しそうめん)」

定例 井戸端会議(実行委員会) 毎月随時
 // むら会議(運営会議) 毎月第2金曜日

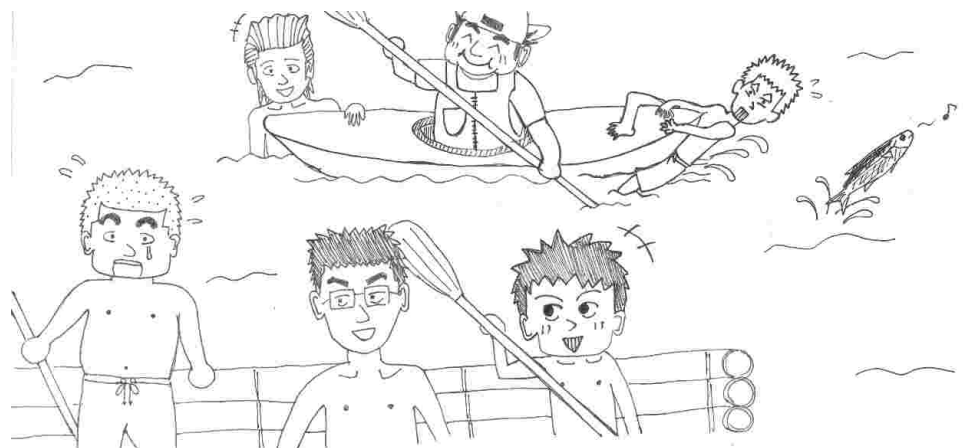


佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~イカダ川くだり、悲惨な学生部号~

2000年の8月初旬、この日は侍従会のビッグイベント『イカダ川くだり』です。数日前の夜、学生部隊長の山田さんから電話がかかってきて言われました。「このイベントは絶対面白いから来た方がいいよ！」と！現在でもおこなわれているこのイベントは当時から1番人気といっている程のビッグイベントでした。内容は、1日目に自分たちでイカダを作り、翌日にイカダに乗って侍従川を下り、海（平瀧湾）まで行くのです。

初日の土曜日。私たちは大道小学校の裏山から竹を切る作業から始めました。竹を切り、揃えてイカダを組んでいきます。しかし、それだけでは乗った時の人の重みに耐えきれず沈んでしまうので、周りにポリタンクをくっつけるのですが...。「ポリタンクが足りませんか？」先輩のセキくんが言いました。「山田さん？ポリタンク足りないんだけど...」。「足りなかった？じゃあ今あるのだけで頑張っ！」「ええー！」。適当にされるのも学生部の扱いです。結局ゴミ袋を膨らませて代用する始末でした。そんな中、今度は当時、学生部最年長のシュウヘイくんがコソコソと作業をサボって抜けだしました。しかし、山田さんに見つかってしまい...「シュウヘー！！逃げるなあ！！」「悪い！ちょっとイケダさん（シュウヘイくんの当時のガールフレンド）との約束が（笑）」。「何いっ！？イケダとイカダどっちが大事なんだあーっ！！」これが今では伝説として語り継がれる(?)『イケダイカダ事件』でした。こうしてなんとか1日目のイカダづくりは終わったのでした。

翌日、日曜日。いよいよ自分たちでつくったイカダを川におろす日がやってきました。私たち学生部は、材料不足の中、なんとか作ったみすぼらしいイカダに5人が乗り込みました。しかし5人で乗るとイカダが沈んでしまうということで、うち1人は泳いでイカダを押しという分担にしました...。イカダから見る侍従川の風景はいつもと違って見えます。水面が近くて水鳥や魚が間近で、私はすごく感動しました。しかし！...トラブルが付き物なのも学生部の運命です。関東学院付近の橋の下でみごとに座礁！浮き袋として代用したゴミ袋がやぶけ、ポリタンクも外れ、バランスを崩したイカダは一気に転覆しました...。「このイカダはもう3人ぐらいしか乗れないべ！あと2人は海まで泳ぎだ



な(笑)」中学3年生のジョウジくんは言いました。ギョッとしたタクマ(私の同級生)が自分は泳げないと主張します。あれこれ揉めているうちに他のイカダに置いていかれ、学生部号はあっという間に最下位になってしまいました。それから約15分が経ち、ようやくカヌーに乗った山田さんが助けに来てくれました。シュウヘイクんとジョウジくんは山田さんのカヌーの前と後ろに、セミのようにつかまって救出され、私とタクマとセキくんは半分沈んだ状態のイカダを必死に漕いで、ゴールの野島公園を目指しました。私たちは全身筋肉痛になりながらもイカダを漕ぎ、夕方ようやくゴールできたことを記憶しています。ゴール後のBBQでは、怒涛の勢いで焼き肉を食べつくしたことは言うまでもありません。

イカダ川くんだり、2010年になった今年もおこなわれます。このイベントが今の世代の子どもたちにも忘れられないような思い出のイベントとなることを願っています。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』つづく



参加者：山田(陽)、屋島、成島、佐野

本日の座談会は、佐野の大学の後輩である屋島氏を迎えての談議である。屋島氏は、言わずと知れたハゼマニアで、日夜研究に励んでいる。そしてこの日は4人で魚とりに出かけた帰りに寄ったゲストにて話は始まる。

山田：「ハゼは結構好きだよ！特にチチブなんか侍従川のシンボリックなハゼ類だからね。」

佐野：「でもチチブは飼っていると他の魚をいじめるから飼育するのは嫌だなあ～。やっぱりボウズハゼとかピリンゴとかジュズカケハゼとか優しいハゼ類が好きだなあ～」

山田：「ヤッシー(屋島)は、ハゼの中では何が一番好きなの？」

屋島：「僕はやっぱりヨシノポリ類が一番好きです！婚姻色とか綺麗だし、生態も面白いですよ。沖縄の方に行けばもっと種類いますよ」



関 有加里

佐野：「ヨシノボリはカッコイイけど同定難しいからなあ～！シマヨシノボリくらいしか確実に同定できないや。オオヨシ・トウヨシ・クロヨシの幼魚なんか見分け付かないよ。でもこれを機にヤッシーに教わりながら勉強しようかなあ！」

開始早々、かなりマニアックな会話へと発展している…。読者の方の中にはきっと、そんなの全部まとめて『ヨシノボリ』でいいではないか？と、思われる方もいるだろう。しかし、マニアにはこの微妙な違いがたまらないのである。

山田：「なるちゃん（成島）はハゼの中で何が好き？」

成島：「う～ん。私はチチブとウキゴリとヨシノボリくらいしか分からないからなあ～。
ヨシノボリも種類は分からないし。そもそも図鑑ですら、鰭の先がやや黄色いとか白いとか、分かりにくいよ！明確な違いがないのにどうやって見分けるの？」

屋島：「感覚です！！（笑）」

成島：「でた！！（笑）さのしん（佐野）もよくそう言うよね～」

山田：「やっぱり何回も見てると生き物は感覚で見分けるようになるよなあ～」

その後もマニアックなハゼ類の種名が飛び交う中、本座談会は延々と続けられた…。これより先、筆者の文章力では本座談会の様子を読者の皆様に伝えきれないと思われるのでこのあたりで筆を置かせていただく。座談会という名のマニアのエンドレスな会話であったことは言うまでもない。

PS 先日、筆者佐野は、屋島氏と沖縄に生き物採集旅行に出かけた。そして、沖縄の川でハゼを採集する彼の顔は輝いていた。ハゼの魅力は底知れない！



それゆけ

激突！山田くん

完全復活！？

～対 動物編～



「激突！山田くん」は、筆者体調不良のため今回はお休みします。ごめんなさい。

行事詳細や中止のお知らせなどのスムーズな伝達のために、メーリングリストに登録してください。登録については山田(陽)まで yohji-y@ezweb.ne.jp

侍従川定例調査報告 学生部

12月26日(土) 曇り/晴れ

若潮 満潮11:04(156cm) 干潮04:21(96cm) 18:45(68cm)

参加者：飯村、佐野、山田(陽)

【高橋～汐見橋～新川橋】(下流域) 10:38

気温：12.0

生き物：ヒドリガモ6 7、オナガガモ9 9、
ホシハジロ7 2、キンクロハジロ1

ゴミ：ビニール袋

備考：カモに餌をやる人がいた。



【長島橋】(中流域) 13:40

気温：12.5 水温：11.5 pH：8.0

生き物：ヒドリガモ2 3、コサギ1、アオサギ1、チチブ10、メダカ2、
テナガエビ1、ミゾレヌマエビ10

ゴミ：たばこのフィルター、ビニール袋

【大道中学校 大道溪谷】(源流域) 14:49

気温：10.0 水温：13.0 pH：8.5

生き物：ホトケドジョウ3、メダカ1

ゴミ：ペットボトル

備考：暗渠に流れ込む箇所が落ち葉により詰まり、
水位が上がっていた。

ヤツデやアオキなど一部川辺に繁茂している
ので伐採の必要があるかも。



【大道中学校裏山のため池】(止水域)

生き物：ヤブヤンマ(幼虫)3...畑地一号池にて
ヤブヤンマ(幼虫)1...畑地五号池にて
アマガエル幼生の死体1...バスタブ

備考：二号池、三号池が埋め立てられる。

母子寮跡地のため池（過去、ホソセスジゲンゴロウ発見）が干上がる。

【常林寺裏谷戸】（源流域）15:52

気温：9.5 水温：10.5 pH：7.5

生き物：アサヒナカワトンボ（幼虫）1、カワゲラsp（幼虫）2、カワニナ1

備考：草刈りしてあったため水路がよく見えた。

【金の橋】（源流域）16:02

気温：9.0 水温：11.0 pH：8.0

生き物：ガガンボsp（幼虫）

備考：横浜市の調査地点だが、ここは生き物が少ない。

1月16日（日） 晴れ

大潮 満潮 06:15(173cm) 17:00(181cm) 干潮 11:37(93cm) 23:58(13cm)

参加者：佐野、金子、山田(陽)

【新川橋】（下流域）9:48

生き物：オナガガモ 4 3、

ホシハジロ 8 2、

ヒドリガモ 1 1、ボラ

ゴミ：レジ袋

備考：水が透明で底まで見えた。



【汐見橋】（下流域）10:03

塩分濃度：12.0 pH：8.0

生き物：オナガガモ 6 8、ヒドリガモ 1

0 9、キンクロハジロ 1 4、

コサギ 1、ボラ 多数、チチブ、マ

ガキ 多数（護岸に付着）

ゴミ：レジ袋



【諏訪橋】（下流域）10:09

生き物：ヒドリガモ 2 2

【長島橋～大道東橋】（中流域）10:57

塩分濃度：0 pH：8.0

生き物：カルガモ15、チチブ11、メダカ4、コイ1（捕獲）50以上（目視）、
ギンブナ（目視）、テナガエビ4、ミゾレヌマエビ2、
ハグロトンボ（幼虫）1、コシボソヤンマ（幼虫）1

ゴミ：レジ袋、タバコ

【大道中学校 大道溪谷】（源流域）11:15

塩分濃度：0 pH：8.0

生き物：ホトケドジョウ7、オオシオカラトンボ1、ミズムシ

ゴミ：空き缶、ボール

備考：最下流にある暗渠入り口の金網が落ち葉が溜まって塞がっていた。

底質が砂から泥にかわっていた。

流れが少ない（最下流がとまっているのと、泥の堆積によるものと思われる）。

流れに、ヤツデやアオキ、ネズミモチの常緑樹が生えてきた。

『持続可能な葦利用システム』



エコフォーラムにて展示

制作 成島みゆき & 島村眞依

The poster is for the 25th 'よこはまの水辺' (Yoko-hama no Mizu no Ryo) Green Thinking Children's Conference (緑を考える子ども会議). It is held on Sunday, March 28th, from 9:30 to 16:00 at Kanazawa Natural Park (金沢自然公園) / Kanazawa Zoo (金沢動物園) / Ino no Hanaya (ののはな館). The poster features illustrations of an elephant, a frog, a snake, a rabbit, and a turtle. It includes details about the location (アクセス) and the content (内容) of the event, such as a workshop (ワークショップ), a field trip (夕染権を採るペンギン), and a discussion (ミニ討論会). The organizer is the Yoko-hama no Mizu no Ryo Green Thinking Children's Conference Executive Committee (よこはまの水辺と緑を考える子ども会議実行委員会), and the sponsor is the Kanazawa City Education and Culture Research Institute (金沢市教育文化研究所).

早田 可奈

事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝明

3月～4月の活動予定

3 / 28(日) 定例クリーンアップ 9時～12時頃 ちとせ園集合

クリーンアップ終了後に有志でお花見を行います。

定例クリーンアップは、雨天の場合、翌週日曜日に行います。

3 / 28(日) 横浜の水辺と緑を考える子ども会議(詳細は前ページのポスターを)

4 / 11(日) 春を味わおう!～春の草摘みと野草料理パーティー～

9時 大道小学校集合 11時頃から、ちとせ園で料理をします。

参加費 会員¥100円 非会員¥200円

4 / 18(日) 葦船乗船会 関東学院漕艇場 9時 大道小学校集合

拡大クリーンアップ

★侍従川の清掃活動に参加しませんか？

平成22年4月25日(日) 9時～

集合場所：大道小学校 校庭

(汐見橋～大道橋～三信住宅入り口)の間を班に別れて活動します

※どなたでも参加できます。初めての方、大歓迎です。

実施時間：午前9時～12時

持ち物と服装：

- (1) 長靴(水深は30～40cmです)
- (2) 軍手
- (3) ゴミ入れ用のレジ袋
- (4) 飲み水、お茶など
- (5) 汚れてもいい服装



川にゴミを捨てないで!



主催：ふるさと侍従川に親しむ会

「侍従川をもう一度子供たちが遊べる川に」

問合せ先：事務局 長橋 電話045-781-4042

学生部の活動は、追ってお知らせします。

活動の詳細(持ち物など)は、別途配布の活動予定又はホームページをご覧ください。

http://www.sora-iro.net/~hirose/furusato_jijyu/

新年度会費納入のお願い

・2010年度(平成22年度)会費・・・2010年4月～2011年3月

大人会員 3,000円 学生部・ジュニア会員 1,500円

・支払方法：同封の払込取扱票にて郵便局でお支払いください。

口座記号番号 00230-5-68634 加入者名：ふるさと侍従川に親しむ会

現金での支払いは間違いのもとになりやすいので郵便局での支払いをお願いします。

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局 長橋 輝明

Tel & Fax 045-781-4042 E-Mail jr-nagahashi@seapple.icc.ne.jp

編集後記 だいぶ春らしくなってきました。ちとせ園の桜もそろそろ開花ですね。

(MK) 24 / 24